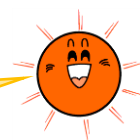


## 単元構想の工夫と本時のねらいの明確化

南会津の課題

単元目標と本時のねらいの関連性が図られていない…。



単元を通して目指すべき子供の姿を明確にして、授業の構成を工夫しましょう！

### 1 単元構想のポイント

単元を通して『目指すべき子供の姿』を明確に！

その  
ため  
には

- ◎ 主体的・対話的で深い学びを実現し、このような資質・能力を育てたい！
- ◎ この教材を、この授業で、こんなふうに活用したい！
- ◎ 一人一人の子供が活躍し、主体的な学びが連続するようにしたい！



教師の『3つの視点』が重要！

- ◎ 単元の目標を明確に！
    - ➡ 学習指導要領を読み込み、観点別に目指すべき子供の姿を明確にしましょう。
  - ◎ 教材の価値を見い出して！
    - ➡ 教材の活用方法、学習内容の系統性や他教科との関連を考えましょう。
  - ◎ 目的をもった実態把握を！
    - ➡ 子供一人一人の学習内容に対するレディネス（既習事項の理解度、想定されるつまずき、生活経験、興味・関心、学び方の状況等）を確認しましょう。
- ※ 『ふくしまの「授業スタンダード」 1 授業前に』を参考に、もう一度チェックしましょう。

『3つの視点』の関連をもとに指導の計画を立てましょう。



### 2 単元計画作成上のポイント

- 身に付けさせたい力を明確にします。
  - 「何が分かり、できるようになってほしいのか」「どんなことを考え、判断し、どのように表現してほしいのか」「どのようなことに新たな学びを見出そうとしてほしいのか」という3つの観点を大切にしましょう。
- 単元全体の見通しを大切にします。
  - 内容や時間のまとまりを見通し、どの時間にどのような活動を設定し（言語活動、ICTの活用、観察実験、問題解決学習、家庭学習等）、それらをどのようにつなぐか、どの場面でどのように評価すればよいかを考えましょう。
- 教材の系統性や他教科等との関連性を確認します。
  - これまでの学習を活かし、これからの学習につなげる視点を大切にしましょう。
- 指導事項を精選します。
  - 限られた時間を効果的に活用するために、1単位時間に多くのねらいを設けるのではなく、単元全体を見通して、各授業におけるねらいを精選し、重点的に指導しましょう。

### 3 本時の授業づくりのポイント

- 授業のゴールを具体的にイメージします。
  - 単元計画の作成を生かし、本時の授業のゴール（終末）では、子供たちは「何が分かり、何ができるようになってほしいのか」を具体的にイメージしましょう。
- 「本時のねらい」を明確に示します。
  - 本時の学習活動や手立てを明確にするとともに、本時で目指す子供の姿を具体的に示しましょう。
    - ➡ 「～する活動を通して（学習活動や手立て）、～することができる（目指す姿）」